

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名		担当教員名	曜日	時限	授業時間割	定員
1	社会学概論	木村 光太郎	月	2	1 時限 09:00～10:30 2 時限 10:40～12:10 3 時限 13:00～14:30 4 時限 14:40～16:10 5 時限 16:20～17:50	若干名
2	日本美術史概論	伊藤 紫織	火	1		
3	社会福祉Ⅱ	小柳 達也	木	4		
4	歴史	加藤 順一	金	1		
5	画像と映像の基礎	樫村 雅章	金	3		
6	ポピュラー音楽史	村木 益実	金	4		

- ※ 授業科目・曜日・時限等に変更になる場合もあります。ご了承ください。
- ※ 授業は9月24日（木）から開始し、全15回の実施を予定しております。なお祝日に授業を行う日もあります。
- ※ 成績評価はいたしません。また、学期末試験を受験する必要はありません。ただし、小テストが実施される科目の場合は、成績評価に関わらず受験していただきます。
- ※ 本講座はパソコンやタブレット端末など、電子機器の基本的な操作ができる方を対象としています。
- ※ 社会情勢や授業担当教員の都合により、授業はオンライン（オンデマンド）で実施される場合があります。オンライン受講時は自宅等での受講となり、インターネット通信環境および接続可能な端末が必要です。
また、授業に関する連絡は本学ポータルシステムを通じて行い、授業によっては受講時に各自の端末を持参していただく場合があります。
- ※ 大学からパソコンやタブレットの貸し出しは行っておりませんので、予めご了承ください。

<オリエンテーションについて>

受講開始に先立ち、システムの操作方法について説明するオリエンテーションを9月11日（金）に開催します。

オリエンテーションにはパソコンやタブレットなどの端末をご持参ください。円滑な受講のためにも必ずご参加ください。

(2) 場所

尚美学園大学 埼玉県川越市豊田町1-1-1

JR 埼京線・川越線／東武東上線 「川越駅」西口から無料スクールバス約10分

西武新宿線 「本川越駅」から無料スクールバス約12分 (下図参照)

※ 受講の際は徒歩または公共交通機関(電車、スクールバス等)をご利用ください。なお、上記以外の通学は認められておりません。

【川越駅西口 スクールバス乗り場】



【本川越駅 スクールバス乗り場】



2 受講料等

(1) 受講料 1科目(半期)につき10,000円

※ 銀行振込によるお支払いとなります。

(2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和8年8月17日(月)(16:30まで)

(2) 申込先 尚美学園大学 教務課

E-mail kyomu@s.shobi-u.ac.jp

(3) 申込方法

以下の事項をもれなく記入の上、E-mailにてお申し込みください。

件名：大学の開放授業講座受講申込

本文：① 住所

ふりがな

② 氏名

③ 年齢(令和8年4月1日現在)

④ 生年月日

⑤ 性別

- ⑥ 電話番号（携帯）
- ⑦ E-mail アドレス
- ⑧ 受講希望科目（2科目まで）
- ⑨ 身分証用写真データ

写真データ提出に関する注意事項：

- ※ 最近3ヶ月以内に撮影されたもの
- ※ 上半身、正面、脱帽、背景が無地のもの
- ※ 正装(スーツやジャケット着用など)を推奨
- ※ 個人が特定しづらい画像の使用は不可
- ※ 画像形式はJPGおよびPNGのみとし、容量10MBまで
- ※ 縦4:横3で切り取り可能な画像

(4) 選抜方法

受講の可否は、8月28日（金）までに申込者全員にE-mailにて通知いたします。

- ※ 多数の申し込みがあった場合は、抽選により受講者を決定いたします。

(5) その他

- ※ 申し込み後、都合により受講できなくなった場合は、9月16日（水）までに申込先E-mail (kyomu@s.shobi-u.ac.jp) へご連絡ください。受講ができなくなった場合、受講料等はいただきません。ただし、一旦納入された受講料につきましては返金できませんので、あらかじめご了承ください。

- ※ **本講座はパソコンやタブレット端末など、電子機器の基本的な操作ができる方を対象としています。**

- ※ **オリエンテーションを9月11日（金）に開催します。オリエンテーションでは、講座で使用するシステムの操作方法について説明します。端末をご持参のうえ、円滑な受講のために必ずご参加ください。**

4 各授業科目の概要および担当教員

社会学概論 (木村 光太郎)	第1回と第2回の授業において社会学という学問に特有のものの見方を丁寧に論じる。第3回以降の授業では、その理論的な視点を具体的な地域課題、つまり埼玉県や川越市で実際に起きているさまざまなケース(事例)に応用していくという「理論と実践の往復運動」として全体が設計されている。受講する学生は、自分たちにとって身近な「埼玉・川越」という地域で起きている具体的な事例を題材にして、それを社会的な視点から診断する訓練を積み重ねることで、抽象的で難解に思える理論を実感を伴いながら習得していくことができる。
---------------------------	---

日本美術史概論 (伊藤 紫織)	日本美術の通史について基礎的な知識を得て、日本美術の特徴を考える。講義の達成目標①日本美術史の歴史区分を知り、様式概念を身につける。②代表的な作品、作家について知識を得る。③美術作品について適切な表記を用いて作品の詳細を説明し、作品同士を比較することができる。
社会福祉Ⅱ (小柳 達也)	本授業では、社会福祉の政策と実践に関する基礎知識と専門知識の理解と応用を目指す。社会福祉に関する政策や理論、概念、実践現場等に関する学習を進める中で、「政策」と「実践」を区別して考えることのみならず、両者を相互補完的なものとして考えることにも挑戦していく。
歴史 (加藤 順一)	日本列島の多様で複雑な自然(地理的・気象的)環境は、複数のプレートの境界領域に位置するという特性に由来し、この列島に生活する人々の文化の特殊性の基盤となってきた。しかしそれとひきかえに、この社会は古来からたび重なる大規模な自然災害―地震・噴火・津波・台風・洪水・飢饉など―に見舞われてきた。古代から現代にいたる震災を主とする大規模災害の事例を取り上げ、復興に努力してきた歴史を探りつつ、災害から日本社会の様相や日本人の意識を読み解くことに努める。
画像と映像の基礎 (樫村 雅章)	映像(動画)や画像(静止画)の基礎的な性質について解説していく。まず色や形の知覚など人間の視覚特性について概説し、統計量などデジタル画像の基本的事項について説明する。続いて、画像圧縮とその要素技術について解説する。また、デジタルデータとして映像や画像の取得や表示を行うための仕組みについて述べ、実用化されてきた方式や機器について概説する。さらに視覚メディアの利用についてとりあげた後に将来を展望し、映像や画像とその扱いに関わる基礎的かつ広範な知識の習得をめざす。
ポピュラー音楽史 (村木 益実)	ポピュラー音楽史では、邦楽を中心とした音楽の歴史を探ります。戦後の音楽の誕生から、阪神大震災や東日本大震災、そして能登半島地震など日本の災害が与えた音楽への影響や、その時代時代での流行を再認識し、音楽の流れを理解する。

※ 講義内容は変更になる場合もあります。ご了承ください。